



安全データシート

Copyright, 2025, 3M Company. All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および/またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。(1) 3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。(2) 本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	10-2472-8	版	1.00
発行日	2025/02/20	前発行日	初版

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

1. 化学品及び会社情報

1.1. 化学品の名称

3MTM Scotch-WeldTM AF126FR Structural Adhesive Film

1.2. 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途

構造用接着剤

1.3. 会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社 東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	自動車産業システム事業部 航空機マーケット営業部
電話番号	ナビダイヤル 0570-011-511 受付時間/8:45~17:15 月~金(土・日・祝日は除く)

2. 危険有害性の要約

GHS分類

発がん性： 区分2

特定標的臓器毒性(反復ばく露)： 区分2

水生環境有害性 短期(急性)： 区分1

水生環境有害性 長期(慢性)： 区分1

GHSラベル要素

注意喚起語

警告

シンボル

健康有害性 環境

ピクトグラム

**危険有害性情報**

H351	発がんのおそれの疑い
H373	長期ばく露又は反復ばく露による臓器障害のおそれ： 皮膚
H410	長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

注意書き**安全対策**

P201	使用前に取扱説明書を入手すること。
P202	安全上の注意事項をすべて読んで、理解するまで取り扱わないこと。
P260	粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
P280E	保護手袋を着用すること。
P273	環境への放出を避けること。

応急措置

P308 + P313	ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。
P391	漏出物を回収すること。

保管

P405	施錠して保管すること。
------	-------------

廃棄

P501	内容物／容器を国際、国、都道府県、市町村の規則に従って廃棄すること。
------	------------------------------------

3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
ニトリルゴム／フェノールエポキシ樹脂／フェノール樹脂	営業秘密	80 - 96
ジシアンジアミド	461-58-5	3.0 - 7.0
p-クロロフェノールジメチルウレア	150-68-5	2.7
三酸化アンチモン	1309-64-4	1.2

4. 応急措置**応急措置**

吸入した場合

新鮮な空気の環境に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

皮膚に付着した場合

石鹸と水で洗浄する。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

眼に入った場合

直ちに多量の水で洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。症状が続く場合には医療機関を受診する。

飲み込んだ場合

口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

長期あるいは反復ばく露による標的臓器影響（詳細については、項目11を参照）。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項

適用しない。

5. 火災時の措置

消火剤

火災の場合： 消火するために水あるいは泡消火薬剤などの、通常の燃焼物質用の消火薬剤を使用すること。

使ってはならない消火剤

情報なし。

特有の危険有害性

本製品では予想されない。

有害な分解物または副生成物

物質

塩素

一酸化炭素

二酸化炭素

臭化水素

塩化水素

シアン化水素

アンモニア

窒素酸化物

アンチモン酸化物

毒性蒸気、微粒子

条件

燃焼中

消火作業者の保護

ヘルメット、自給式の陽圧ないし加圧式呼吸装置、バンカーコート及びズボン、腕、腰及び脚の周りのバンド、顔面マスク、及び頭部の露出部分の保護カバーを含む完全保護衣服を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

ばく露評価の結果に基づいて個人用保護具を使用すること。推奨の個人用保護具についてはセクション8を参照する。漏出時に予想されるばく露がセクション8に記載されている個人用保護具の保護性能を超える場合、または不明な場合は、材料の物理的および化学的危険性を考慮し、適切な保護性能を有する個人用保護具を選択する。緊急対応のための個人用保護具の例としては、可燃性物質の漏出時の防火服の着用、漏出物質が腐食性・感作性・重大な皮膚刺激性がある場合や皮膚から吸収される可能性がある場合の化学防護服の着用、吸入有害性のある化学物質に対しては陽圧式送気マスクの装着が挙げられる。物理的および健康有害性に関する情報については、SDSのセクション2および11を参照すること。区域から退避させること。新鮮な空気での場所を換気する。

環境に対する注意事項

環境への放出を避けること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏洩した物質を出来る限り多く回収する。密閉容器に収納する。残さを清掃する。容器を密封する。回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

工業用又は業務用。消費者用用途への販売、使用禁止。全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。眼、皮膚、衣類につけないこと。この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。取扱後はよく洗うこと。環境への放出を避けること。指定された個人保護具を使用する。

保管

熱から離して保管する。酸から離して保管する。強塩基から離して保管する。アミンから離して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理項目

許容濃度及び管理濃度

セクション3に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
三酸化アンチモン	1309-64-4	ACGIH	TWA (吸入分画) : 0.02mg/m ³	A2: ヒトに対して発がん性が疑われる物質
三酸化アンチモン	1309-64-4	ISHL	TLV (8時間) : 0.1 mg/m ³	
三酸化アンチモン	1309-64-4	JSOH OELs	TWA (アンチモンとして) (8時間) : 0.1 mg/m ³	2B: ヒトに対して発がん性の可能性がある。
p-クロロフェノールジメチルウレア	150-68-5	事業者の判断	TWA (吸引性エアロゾル) (8時間) : 1 mg/m ³	

ACGIH : American Conference of Governmental Industrial Hygienists

AIHA : American Industrial Hygiene Association

ISHL : 労働安全衛生法作業環境評価基準

ISHL (濃度基準値) : 労働安全衛生法厚生労働大臣が定める濃度の基準

JSOH OELs : 日本産業衛生学会許容濃度

TWA : 時間加重平均値

STEL : 短時間ばく露限界値

ppm : 百万分率

mg/m³ : ミリグラム/立方メートル

CEIL: 天井値

ばく露防止策

設備対策

熱硬化処理を行う場合は適切な局所排気装置を使用する。熱処理オーブンの排気は屋外又は排気設備に放出すること。切削、研削、研磨、旋削時に適切な局排換気を行う。空気中の有害物質をそれぞれの許容濃度以下に制御し、粉じん、フェーム、ガス、ミスト、スプレーをコントロールするためにも、一般的な希釈換気あるいは局排換気を行う。換気が適切に実施できない場合は、呼吸保護具を使用する。

保護具

眼の保護具

ばく露評価結果に準じた眼・顔の保護具を選択・使用する。下記の眼・顔の保護具を推奨する。
サイドシールド付安全メガネ

皮膚及び身体の保護具

ばく露評価に準じた皮膚接触を防止するために、関連した法令で認められた保護手袋・保護衣を選択・使用する。注：保護性を高めるために樹脂ラミネートされた手袋にニトリルゴム製の手袋を重ねてもよい。
推奨される手袋の材質：樹脂ラミネート。

呼吸用保護具

ばく露評価によって保護マスクが必要と判断される場合には、適切なものを使用する。ばく露評価結果に基づいて以下のものから保護マスクを選択する：
半面形もしくは全面形のろ過材付き有機ガス用防毒マスク

特殊な利用に際して、マスクの適合性に疑問があれば、保護マスクのメーカーに相談する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理・化学的性質

外観	固体
物理的状態:	フィルム
色	白-アンバー。
臭い	ごく僅かなニトリル臭
臭いの閾値	データはない。
pH	適用しない
融点・凝固点	データはない。
沸点, 初留点及び沸騰範囲	適用しない
引火点	引火点>93°C
蒸発速度	適用しない
引火性	適用しない
燃焼点 (下限)	適用しない
燃焼点 (上限)	適用しない
蒸気圧	適用しない

相対蒸気密度	適用しない
密度	1.2 g/cm ³ [試験条件： 20 °C]
比重	1.2 [参照基準：水=1]
溶解度	なし。
溶解度（水以外）	データはない。
n-オクタノール/水分配係数	適用しない
発火点	データはない。
分解温度	データはない。
動粘度	適用しない
揮発性有機化合物	適用しない
揮発分	データはない。
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 (JIS-GHSの要求項目ではない)	適用しない

ナノパーティクル

この製品はナノパーティクルを含有しない。

粒子特性	適用しない
------	-------

10. 安定性及び反応性

反応性

この物質は、特殊条件下では薬品と反応する可能性がある。このセクションの他の項目を参照する。

化学的安定性

安定。

危険有害反応の可能性

有害な重合反応は起こらない。

避けるべき条件

熱。

混触危険物質

アミン類

強酸

強塩基

危険有害な分解物

物質

条件

知見はない。

セクション5の燃焼中の有害な分解物を参照

11. 有害性情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは

製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

毒性学的影響に関する情報

ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

吸入した場合

気道刺激： 咳、くしゃみ、鼻水、頭痛、鼻と喉の痛みなどの症状。 その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

皮膚に付着した場合

製品使用中に皮膚に接触しても、重篤な刺激が発現するとは考えられない。 その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

眼に入った場合

製品使用中に眼に接触しても、重篤な刺激が発現するとは考えられない。

飲み込んだ場合

飲み込むと、健康障害を起こすことがある。 物理的閉塞： 腹部痙攣、腹痛、便秘などの症状。

その他健康影響情報

長時間又は反復暴露した場合：

線維症： 無呼吸、慢性的空咳、痰、喘鳴及び肺機能検査結果の変化などの症状。 皮膚への影響： 発赤、かゆみ、ニキビ様吹き出物、腫れ物などの症状。

発がん性

発がん性のある化学物質を、単体あるいは混合物として含有する。

追加情報

本製品の健康上の有害性は、完全には明らかになっていない。本SDSの他の項目を参照。

毒性データ

セクション3に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いが、分類するに十分なデータが無い場合があります。

急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	皮膚		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
製品全体	経口摂取		データ無し：計算された急性毒性推定値 >2,000 - =5,000 mg/kg
ジシアンジアミド	皮膚	ウサギ	LD50 > 10,000 mg/kg
ジシアンジアミド	経口摂取	ラット	LD50 > 30,000 mg/kg
p-クロロフェノールジメチルウレア	皮膚	ウサギ	LD50 > 2,500 mg/kg
p-クロロフェノールジメチルウレア	経口摂取	ラット	LD50 1,480 mg/kg
三酸化アンチモン	皮膚	ウサギ	LD50 > 6,685 mg/kg
三酸化アンチモン	吸入-粉塵	ラット	LC50 > 2.76 mg/l

	/ミスト (4 時間)		
三酸化アンチモン	経口摂取	ラット	LD50 > 34,600 mg/kg

ATE=推定急性毒性

皮膚腐食性/刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
製品全体	多種類の動物種	刺激性なし
ジシアンジアミド	ヒト及び動物	ごく僅かな刺激臭
p-クロロフェノールジメチルウレア	類似化合物	軽度の刺激
三酸化アンチモン	ヒト及び動物	ごく僅かな刺激臭

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
ジシアンジアミド	専門家による判断	軽度の刺激
p-クロロフェノールジメチルウレア	類似化合物	中程度の刺激
三酸化アンチモン	ウサギ	軽度の刺激

呼吸器感作性または皮膚感作性**皮膚感作性**

名称	生物種	値又は判定結果
製品全体	モルモット	区分に該当しない。
ジシアンジアミド	モルモット	区分に該当しない。
三酸化アンチモン	ヒト	区分に該当しない。

呼吸器感作性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いが、分類するに十分なデータが無い。

生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
ジシアンジアミド	In vitro	変異原性なし
p-クロロフェノールジメチルウレア	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
p-クロロフェノールジメチルウレア	In vivo	陽性データはあるが、分類には不十分。
三酸化アンチモン	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
三酸化アンチモン	In vivo	陽性データはあるが、分類には不十分。

発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
ジシアンジアミド	経口摂取	ラット	発がん性なし
p-クロロフェノールジメチルウレア	経口摂取	ラット	陽性データはあるが、分類には不十分。

三酸化アンチモン	吸入した場合	多種類の動物種	発がん性
----------	--------	---------	------

生殖毒性

生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
ジシアンジアミド	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	交配前および妊娠中。
ジシアンジアミド	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	44 日
ジシアンジアミド	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	交配前および妊娠中。
p-クロロフェノールジメチルウレア	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	マウス	LOAEL 215 mg/kg/日	妊娠期間中
三酸化アンチモン	吸入した場合	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	LOAEL 0.25 mg/l	交配前および妊娠中。

標的臓器

特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
p-クロロフェノールジメチルウレア	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	類似化合物	NOAEL 入手できない	
p-クロロフェノールジメチルウレア	経口摂取	メトヘモグロビン血症	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 入手できない	適用しない。
三酸化アンチモン	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。		NOAEL 入手できない	

特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
ジシアンジアミド	経口摂取	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 6,822 mg/kg/day	13 週
p-クロロフェノールジメチルウレア	経口摂取	肝臓	陽性データはあるが、分類には不十分。	マウス	LOAEL 800 mg/kg/day	103 週
p-クロロフェノールジメチルウレア	経口摂取	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	LOAEL 65 mg/kg/day	103 週
p-クロロフェノールジメチルウレア	経口摂取	免疫システム	区分に該当しない。	ラット	LOAEL 520 mg/kg/day	13 週
三酸化アンチモン	皮膚	皮膚	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく
三酸化アンチモン	吸入した場合	肺線維症	長期ばく露又は反復ばく露による臓器障害のおそれ	ラット	NOAEL 0.002 mg/l	1 年
三酸化アンチモン	吸入した場合	肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.043 mg/l	1 年
三酸化アンチモン	吸入した場合	血液	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.004 mg/l	入手できない
三酸化アンチモン	吸入した場合	塵肺症	区分に該当しない。	ヒト	LOAEL 0.01 mg/l	職業性被ばく
三酸化アンチモン	吸入した場合	心臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.02 mg/l	1 年
三酸化アンチモン	経口摂取	血液 肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 418 mg/kg/day	入手できない
三酸化アンチモン	経口摂取	心臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 入手できない	入手できない

誤えん有害性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いが、分類するに十分なデータが無い。

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの1ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

12. 環境影響情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。セクション2の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

生態毒性**水生環境有害性 短期（急性）**

GHS水生環境有害性（急性）区分1：水生生物に非常に強い毒性。

水生環境有害性 長期（慢性）

GHS水生環境有害性 長期（慢性）区分1：長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
ジシアンジアミド	461-58-5	ブルーギル	実験	96 時間	LC50	>1,000 mg/l
ジシアンジアミド	461-58-5	緑藻類	実験	72 時間	EC50	>1,000 mg/l
ジシアンジアミド	461-58-5	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	3,177 mg/l
ジシアンジアミド	461-58-5	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	310 mg/l
ジシアンジアミド	461-58-5	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	25 mg/l
ジシアンジアミド	461-58-5	シマミミズ	実験	14 日	LC50	>3,200 mg/kg (乾燥重量)
三酸化アンチモン	1309-64-4	緑藻類	エンドポイントに達しない。	72 時間	EC50	>100 mg/l
三酸化アンチモン	1309-64-4	該当なし	推定値	96 時間	EC50	2.12 mg/l
三酸化アンチモン	1309-64-4	ファットヘッドミノウ (魚)	推定値	96 時間	LC50	17.2 mg/l
三酸化アンチモン	1309-64-4	魚	推定値	96 時間	LC50	8.3 mg/l
三酸化アンチ	1309-64-4	液状化	実験	4 時間	NOEC	6.1 mg/l

モン						
三酸化アンチモン	1309-64-4	ニジマス	推定値	28 日	LC10	0.188 mg/l
三酸化アンチモン	1309-64-4	ミジンコ	推定値	21 日	NOEC	2.08 mg/l
三酸化アンチモン	1309-64-4	緑藻類	実験	72	NOEC	2.53 mg/l
p-クロロフェノールジメチルウレア	150-68-5	藻類または他の水生植物	実験	24 時間	EC50	0.079 mg/l
p-クロロフェノールジメチルウレア	150-68-5	魚	実験	96 時間	LC50	3.3 mg/l
p-クロロフェノールジメチルウレア	150-68-5	ミジンコ	実験	26 時間	EC50	106 mg/l
p-クロロフェノールジメチルウレア	150-68-5	緑藻類	実験	96 時間	NOEC	0.01 mg/l

残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
ジシアンジアミド	461-58-5	実験 生分解性	28 日	DOC (溶存有機炭素) 残留量	0 DOC除去%	OECD 301E - 修正 OECDスクリーニング試験
ジシアンジアミド	461-58-5	実験 水生固有生分解性	14 日	DOC (溶存有機炭素) 残留量	0 DOC除去%	OECD 302B Zahn-Wellens/EVPA試験
ジシアンジアミド	461-58-5	実験 生分解性	61 日	二酸化炭素の発生	1.1 CO2発生量/理論CO2発生量%	OECD 309 好氣的表層水生分解性シミュレーション試験
三酸化アンチモン	1309-64-4	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
p-クロロフェノールジメチルウレア	150-68-5	モデル 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	2.1 %BOD/ThOD	OECD 301C-MITI (1)

生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
ジシアンジアミド	461-58-5	実験 BCF - 魚	42 日	生物濃縮係数	<=3.1	OECD305-生体濃縮度試験
ジシアンジアミド	461-58-5	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	-0.52	OECD107 log Kow フラスコ振騰法
三酸化アンチモン	1309-64-4	分類にデータが利用でき	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

		ない、あるいは不足している。				
p-クロロフェノールジメチルウレア	150-68-5	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	1.94	Catalogic [™]

土壌中の移動性

データはない。

オゾン層への有害性

データはない。

13. 廃棄上の注意**廃棄方法**

関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意

国連番号及び品名： 3077 環境有害物質（固体）

輸送分類（IMO）：9 その他の有害性物質

輸送分類（IATA）：9 その他の有害性物質

容器等級：III

国内規制がある場合の規制情報

取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、消防法などの法令の定めるところに従う。

15. 適用法令**国内法規制及び関連情報****日本国内法規制（主な適用法令）**

労働安全衛生法：危険性又は有害性等を調査（リスクアセスメント）すべき物（法第 57 条の 3）

労働安全衛生法：施行令 18 条の 2 名称等を通知すべき有害物

労働安全衛生法：施行令 18 条有害物質（表示物質）

労働安全衛生法：施行令別表第三第二項および第三項 特定化学物質

地方労働局長宛て通達 エポキシ樹脂の硬化剤による健康障害の防止について 昭和57年6月8日基発第339号

化管法：第 1 種指定化学物質

海洋汚染防止法：環境有害物質

消防法：指定可燃物（可燃性固体類）

船舶安全法、航空法：有害性物質

主な法規制物質

労働安全衛生法：通知・リスクアセスメント・表示義務対象物質

成分	法律又は政令名称	2025年3月31日迄	2025年4月1日以降 2026年3月31日迄	2026年4月1日以降
三酸化アンチモン	三酸化二アンチモン	該当	該当	該当
p-クロロフェノールジメチルウレア	3-(4-クロロフェニル)-1,1-ジメチル尿素	適用しない	適用しない	該当

化管法

成分	政令名称	管理番号	区分
三酸化アンチモン	アンチモン及びその化合物	31	第1種指定化学物質

16. その他の情報

改訂情報

改訂情報なし

免責事項：この安全データシート（SDS）の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。

（法令で要求される場合を除く）本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせでの使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

3MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。